Goldman Sachs Asset Management

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「ゴールドマン・サックス 米国ＲＥＩＴファンド　Ａコース/Ｂコース」は、このたび、第250期～第255期の決算を行いました。本ファンドは、米国のリートを主要投資対象として、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| Aコース | 第255期末（2025年4月23日） | | 第250期～第255期 | |
| | 基準価額 | 2,272円 | 騰落率 | -12.1% |
| | 純資産総額 | 5,083百万円 | 分配金合計 | 30円 |
| Bコース | 第255期末（2025年4月23日） | | 第250期～第255期 | |
| | 基準価額 | 2,134円 | 騰落率 | -15.4% |
| | 純資産総額 | 50,828百万円 | 分配金合計 | 60円 |

（注）騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付する旨が定められております。運用報告書（全体版）は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉
右記ＵＲＬにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書（全体版）」を選択

交付運用報告書

# ゴールドマン・サックス 米国REITファンド

## 愛称：コロンブスの卵

Ａコース（毎月分配型、為替ヘッジあり）
Ｂコース（毎月分配型、為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／不動産投信

第250期（決算日2024年11月25日）
第251期（決算日2024年12月23日）
第252期（決算日2025年 1 月23日）
第253期（決算日2025年 2 月25日）
第254期（決算日2025年 3 月24日）
第255期（決算日2025年 4 月23日）

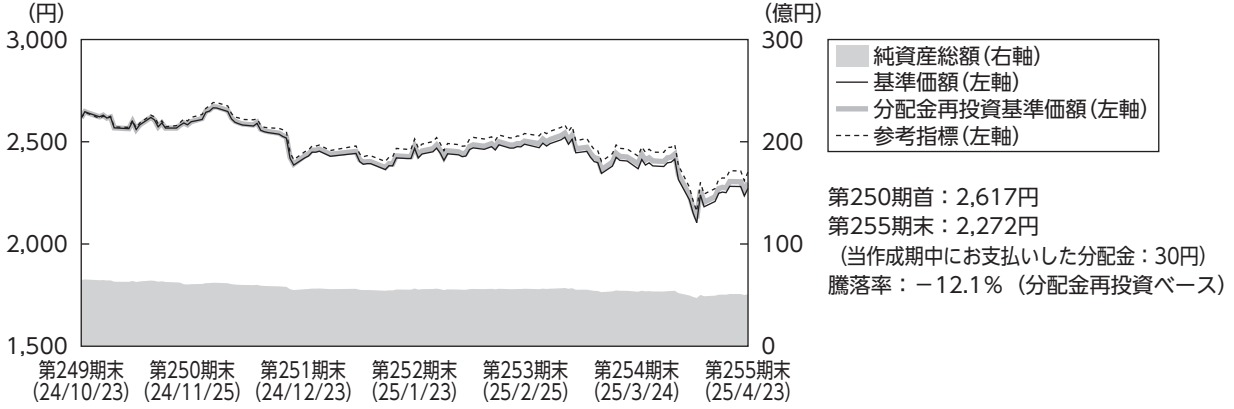
作成対象期間：2024年10月24日～2025年４月23日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント
〒105-5543 東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー
お問合せ先：03-4587-6000（代表）
受付時間：営業日の午前９時～午後５時
www.gsam.co.jp

# 運用経過

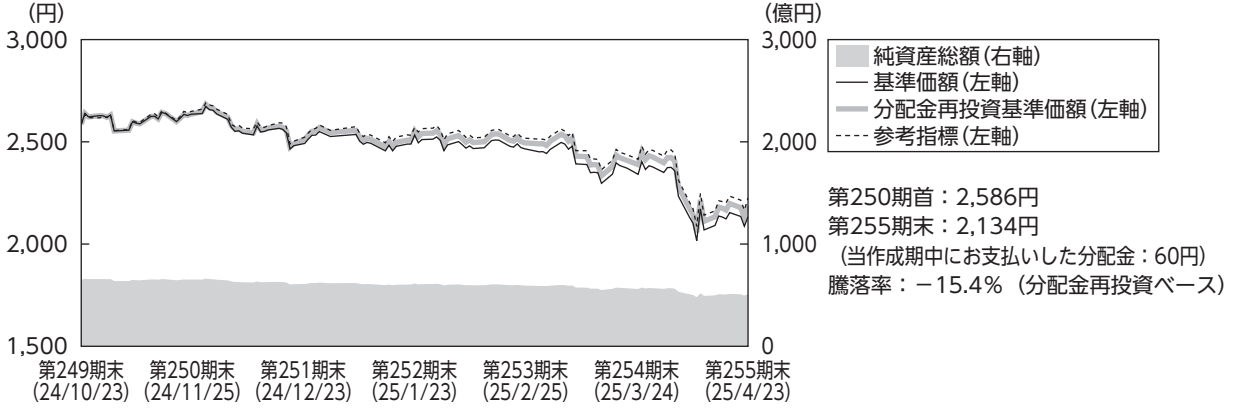
## ■ 基準価額等の推移について（2024年10月24日～2025年４月23日）

○ゴールドマン・サックス　米国ＲＥＩＴファンドＡコース（毎月分配型、為替ヘッジあり）
（以下、「Ａコース（為替ヘッジあり）」といいます。）




第250期首：2,617円
第255期末：2,272円
（当作成期中にお支払いした分配金：30円）
騰落率：－12.1％（分配金再投資ベース）

○ゴールドマン・サックス　米国ＲＥＩＴファンドＢコース（毎月分配型、為替ヘッジなし）
（以下、「Ｂコース（為替ヘッジなし）」といいます。）




第250期首：2,586円
第255期末：2,134円
（当作成期中にお支払いした分配金：60円）
騰落率：－15.4％（分配金再投資ベース）

（注１）参考指標は、Ａコース（為替ヘッジあり）はＭＳＣＩ米国ＲＥＩＴインデックス（円ヘッジ・ベース）、Ｂコース（為替ヘッジなし）はＭＳＣＩ米国ＲＥＩＴインデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。
（注２）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注３）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
（注４）分配金再投資基準価額、参考指標は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。
（注５）騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しています。

## ■基準価額の主な変動要因

○Ａコース（為替ヘッジあり）の基準価額は、期首の2,617円から345円下落し、期末には2,272円となりました。
○Ｂコース（為替ヘッジなし）の基準価額は、期首の2,586円から452円下落し、期末には2,134円となりました。
（以下、２ファンドを総称して「本ファンド」ということがあります。）

上昇要因

ウェルタワーやベンタスが保有期間中に上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米国リート市場（米ドルベース）が下落したことや、プロロジスやアレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズが保有期間中に下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。Ｂコース（為替ヘッジなし）においては、米ドルが対円で下落したことも、基準価額の下落要因となりました。

## ■ １万口当たりの費用明細

○Ａコース（為替ヘッジあり）

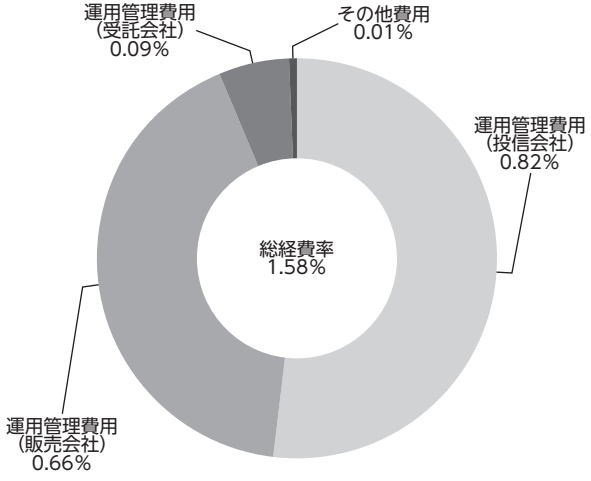
| 項目 | 第250期～第255期<br>2024年10月24日～2025年4月23日<br>金額 | 比率 | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| 信託報酬 | 20円 | 0.784% | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （投信会社） | (10) | (0.411) | ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 |
| （販売会社） | ( 8) | (0.329) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 |
| （受託会社） | ( 1) | (0.044) | ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| 売買委託手数料 | 0 | 0.019 | 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （投資信託証券） | ( 0) | (0.019) | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 |
| 有価証券取引税 | 0 | 0.001 | 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| （投資信託証券） | ( 0) | (0.001) | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 |
| その他費用 | 0 | 0.007 | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 |
| （保管費用） | ( 0) | (0.002) | 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 |
| （監査費用） | ( 0) | (0.002) | 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （その他） | ( 0) | (0.003) | 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用 |
| 合計 | 20 | 0.811 | |
| 期中の平均基準価額は2,504円です。 | | | |

（注１）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。
（注２）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。




（注１）費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ■ １万口当たりの費用明細

○Ｂコース（為替ヘッジなし）

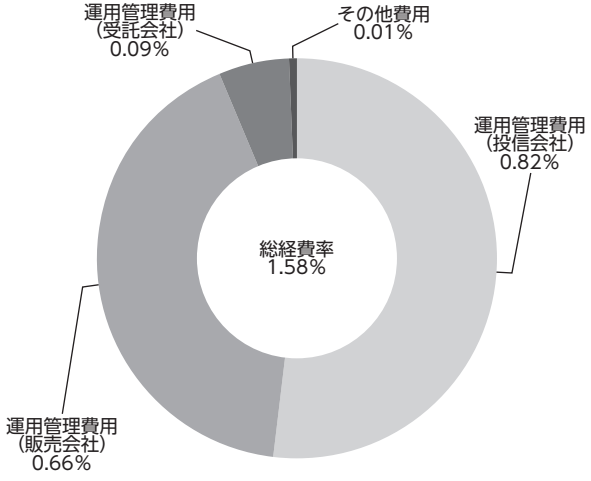
| 項目 | 第250期～第255期<br>2024年10月24日～2025年4月23日 | | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| | 金額 | 比率 | |
| 信託報酬 | 20円 | 0.784% | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （投信会社） | (10) | (0.411) | ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 |
| （販売会社） | ( 8) | (0.329) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 |
| （受託会社） | ( 1) | (0.044) | ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| 売買委託手数料 | 0 | 0.019 | 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| （投資信託証券） | ( 0) | (0.019) | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 |
| 有価証券取引税 | 0 | 0.001 | 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| （投資信託証券） | ( 0) | (0.001) | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 |
| その他費用 | 0 | 0.007 | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 |
| （保管費用） | ( 0) | (0.001) | 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 |
| （監査費用） | ( 0) | (0.003) | 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （その他） | ( 0) | (0.003) | 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用 |
| 合計 | 20 | 0.811 | |
| 期中の平均基準価額は2,515円です。 | | | |

（注１）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。
（注２）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

## ■ 総経費率

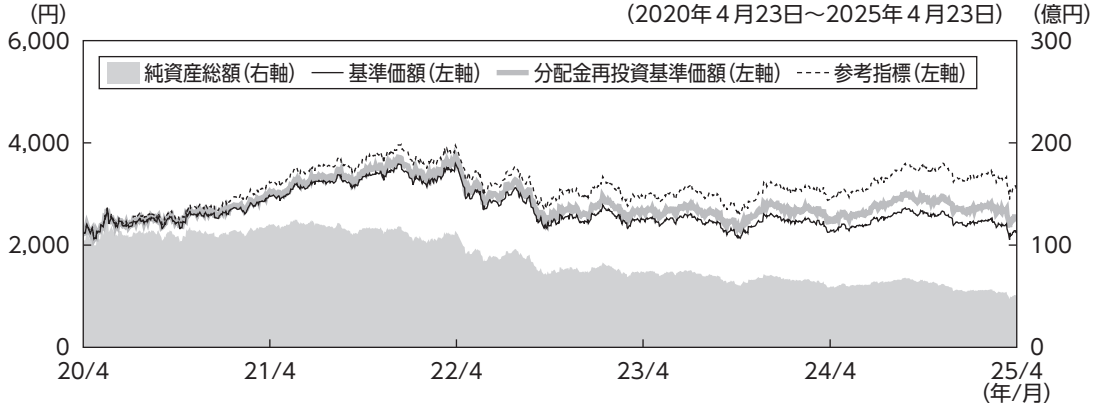
当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.58%です。



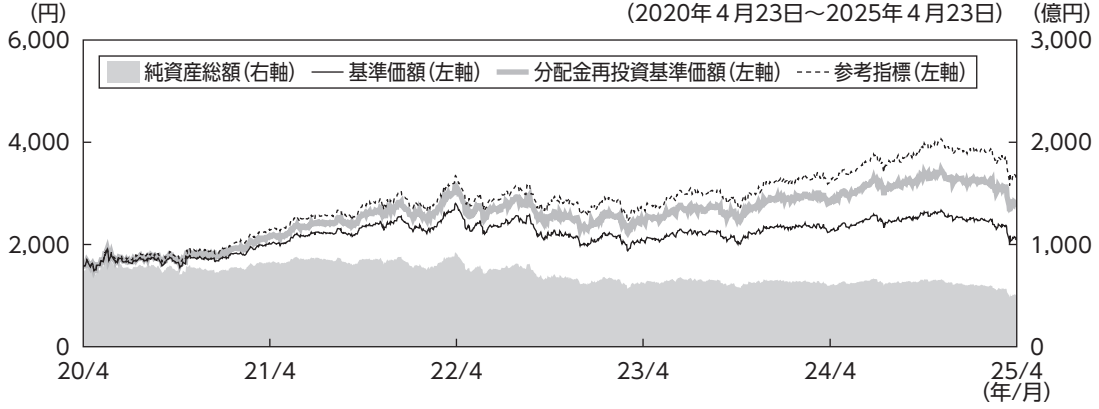

（注１）費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ■最近５年間の基準価額等の推移について

○Ａコース（為替ヘッジあり）




○Ｂコース（為替ヘッジなし）




（注１）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注２）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

（注３）分配金再投資基準価額、参考指標は、2020年４月23日の基準価額を起点として指数化しています。

（注４）参考指標は、Ａコース（為替ヘッジあり）はＭＳＣＩ米国ＲＥＩＴインデックス（円ヘッジ・ベース）、Ｂコース（為替ヘッジなし）はＭＳＣＩ米国ＲＥＩＴインデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

## ■最近５年間の年間騰落率

○Ａコース（為替ヘッジあり）

| | 2020/4/23 決算日 | 2021/4/23 決算日 | 2022/4/25 決算日 | 2023/4/24 決算日 | 2024/4/23 決算日 | 2025/4/23 決算日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額（分配落）（円） | 2,252 | 2,951 | 3,508 | 2,504 | 2,270 | 2,272 |
| 期間分配金（税引前）（円） | － | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 | － | 34.2% | 21.1% | －27.0% | －7.1% | 2.5% |
| 参考指標騰落率 | － | 42.8% | 19.9% | －23.0% | －1.7% | 8.0% |
| 純資産総額（百万円） | 10,552 | 11,973 | 11,080 | 7,383 | 5,902 | 5,083 |

○Ｂコース（為替ヘッジなし）

| | 2020/4/23 決算日 | 2021/4/23 決算日 | 2022/4/25 決算日 | 2023/4/24 決算日 | 2024/4/23 決算日 | 2025/4/23 決算日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額（分配落）（円） | 1,597 | 2,008 | 2,742 | 2,075 | 2,257 | 2,134 |
| 期間分配金（税引前）（円） | － | 120 | 120 | 120 | 120 | 120 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 | － | 34.8% | 43.8% | －20.0% | 14.8% | －0.7% |
| 参考指標騰落率 | － | 42.7% | 44.0% | －17.2% | 19.4% | 3.7% |
| 純資産総額（百万円） | 75,179 | 82,174 | 90,042 | 62,579 | 60,009 | 50,828 |

（注１）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。小数点以下第２位を四捨五入して表示しています。
（注２）純資産総額の単位未満は切捨てで表示しています。
（注３）参考指標は、Ａコース（為替ヘッジあり）はＭＳＣＩ米国ＲＥＩＴインデックス（円ヘッジ・ベース）、Ｂコース（為替ヘッジなし）はＭＳＣＩ米国ＲＥＩＴインデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

## ■投資環境について

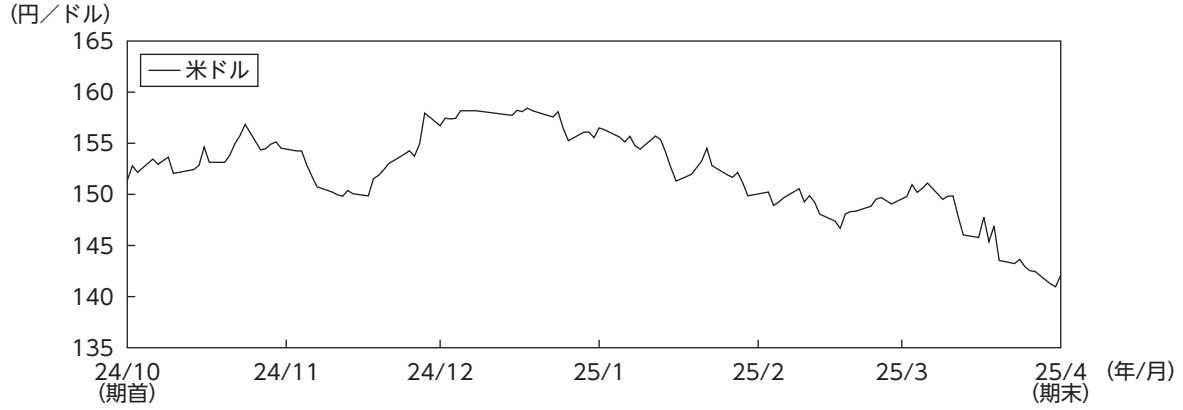
＜米国リート市場＞

米国リート市場は下落しました。

期初は、米大統領選でのトランプ氏の勝利を受けて、規制緩和や減税などへの期待が高まったことから、米株式市場が堅調に推移すると、リート市場も上昇しました。しかし、想定される政策内容や政権人事を巡って市場は一喜一憂する展開となりました。また、インフレ再加速懸念が高まったことなどから米金利が上昇すると、リート市場は2024年末にかけて下落しました。2025年に入ると、中国企業が高性能なＡＩ（人工知能）を開発したことをきっかけに、大手ハイテク銘柄を中心に株式市場は下落し、その影響を受けリート市場も軟調になりました。また、４月上旬にトランプ政権が市場の想定よりも厳しい関税政策を発表すると、景気悪化懸念の高まりから株式やリートを含むリスク資産が急落しました。その後、トランプ政権が一転して相互関税の発動の先送りを発表したことで、リート市場はやや回復して期末を迎えました。

＜外国為替市場＞

当期は、米ドルは円に対して下落しました。




出所：一般社団法人投資信託協会

## ■ポートフォリオについて

＜本ファンド＞

本ファンドは米国ＲＥＩＴマザーファンドを概ね高位に組入れ、米国のリートを実質的な主要投資対象とし、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。また、Ａコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざしました。

＜本マザーファンド＞

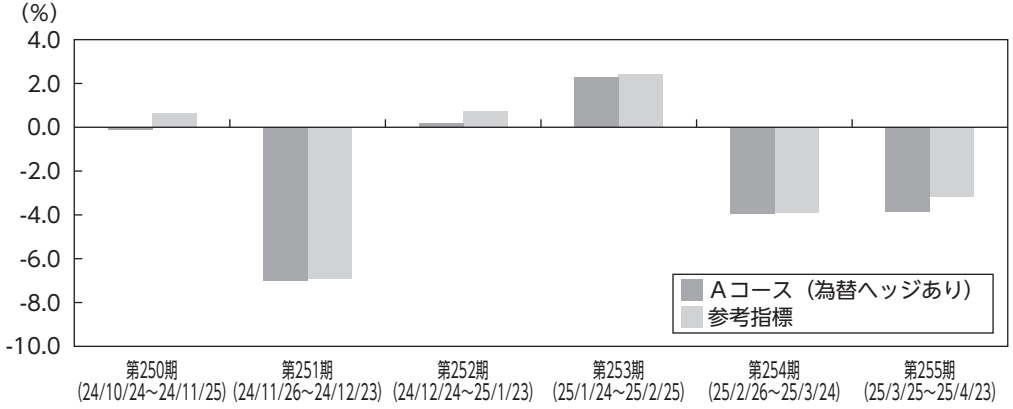
米国リートを主要投資対象とし、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。当期においては、ウェルタワーやベンタスが上昇したことなどが基準価額の上昇要因となった一方で、プロロジスやアレクサンドリア・リアル・エステート・エクイティーズが下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

## ■ベンチマークとの差異について

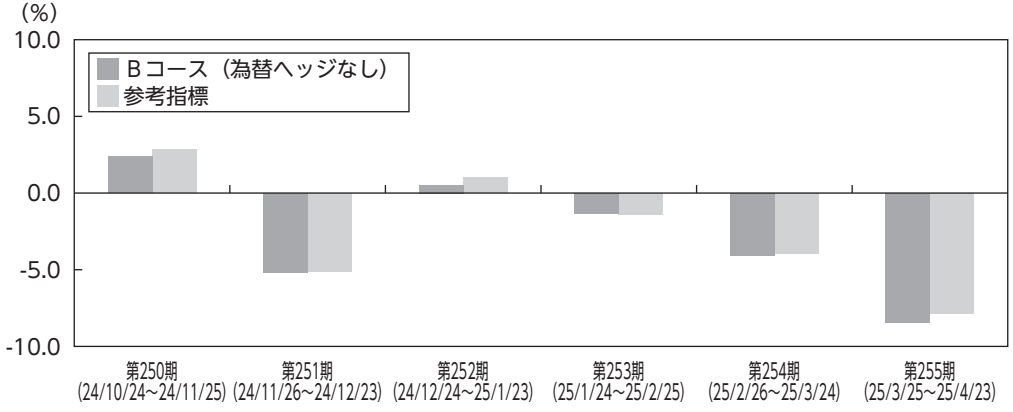
本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

＜当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）＞

○Ａコース（為替ヘッジあり）




○Ｂコース（為替ヘッジなし）




（注１）各コースの基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
（注２）参考指標は、Ａコース（為替ヘッジあり）はＭＳＣＩ米国ＲＥＩＴインデックス（円ヘッジ・ベース）、Ｂコース（為替ヘッジなし）はＭＳＣＩ米国ＲＥＩＴインデックス（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

当期のＡコース（為替ヘッジあり）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は－12.1％となった一方、参考指標のパフォーマンスは－10.1％となりました。Ｂコース（為替ヘッジなし）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は－15.4％となった一方、参考指標のパフォーマンスは－13.9％となりました。

## ■分配金について

収益分配金（１万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、当期は、Ａコース（為替ヘッジあり）は第250期から255期は各５円としました。Ｂコース（為替ヘッジなし）は第250期から255期は各10円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

＜分配原資の内訳＞

○Ａコース（為替ヘッジあり）　（単位：円・％、１万口当たり・税引前）

| 項目 | 第250期 | 第251期 | 第252期 | 第253期 | 第254期 | 第255期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2024年10月24日～2024年11月25日 | 2024年11月26日～2024年12月23日 | 2024年12月24日～2025年１月23日 | 2025年１月24日～2025年２月25日 | 2025年２月26日～2025年３月24日 | 2025年３月25日～2025年４月23日 |
| 当期分配金 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| （対基準価額比率） | 0.191 | 0.206 | 0.206 | 0.202 | 0.211 | 0.220 |
| 当期の収益 | 4 | － | 5 | 5 | － | 5 |
| 当期の収益以外 | 0 | 5 | － | － | 5 | － |
| 翌期繰越分配対象額 | 239 | 234 | 235 | 238 | 233 | 236 |

○Ｂコース（為替ヘッジなし）　（単位：円・％、１万口当たり・税引前）

| 項目 | 第250期 | 第251期 | 第252期 | 第253期 | 第254期 | 第255期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2024年10月24日～2024年11月25日 | 2024年11月26日～2024年12月23日 | 2024年12月24日～2025年１月23日 | 2025年１月24日～2025年２月25日 | 2025年２月26日～2025年３月24日 | 2025年３月25日～2025年４月23日 |
| 当期分配金 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| （対基準価額比率） | 0.378 | 0.400 | 0.399 | 0.406 | 0.425 | 0.466 |
| 当期の収益 | 10 | － | 7 | 4 | － | 8 |
| 当期の収益以外 | － | 10 | 2 | 5 | 10 | 1 |
| 翌期繰越分配対象額 | 2,118 | 2,108 | 2,105 | 2,100 | 2,090 | 2,088 |

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針について

＜本ファンド＞

引き続き本マザーファンド受益証券を概ね高位に組入れ、米国のリートを実質的な主要投資対象とし、高水準の配当収益の獲得を図りつつ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、Ａコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざします。

＜本マザーファンド＞

米国リート市場において、運用チームでは金融政策と各国の政治動向を注視しつつ、不動産特有のファンダメンタルズの格差や資金調達環境などを重視します。2024年はＦＲＢ（米連邦準備制度理事会）がインフレ抑制に向けた金融引き締めから、緩和的な政策へと推移した年となりましたが、経済活動は引き締め政策を経てもなお堅調を維持しているとみられ、米国経済の底力を示すこととなりました。政治動向への注目度も高く、米国のトランプ政権下での関税や規制緩和が米国内外の景気およびインフレに影響を与える可能性があり、金融政策を方向づける要因となりえます。不動産のファンダメンタルズは高金利環境が継続するなか業況の優劣が鮮明化しており、ＡＩの発展や製造拠点の国内回帰、ヘルスケア分野のイノベーションといった成長領域に関連する不動産セクターでは好調が続く一方、構造的な需要低下がみられるオフィスや、過剰供給による需給バランスの悪化したセクターでは調整が継続しています。ファンダメンタルズの違いによる選別色が引き続き強まる可能性があるとみて、需給環境を踏まえたクオリティ重視の銘柄選択が重要だと考えています。

運用チームでは、中長期的な成長性の高さ、分散効果、インフレ・ヘッジなどの観点から、リートは引き続き魅力的な投資対象であると考えます。ポートフォリオ構築の観点からは、バランスシートが良好で、強固なビジネス・モデルを持ち、質の高い資産を保有し、優秀な経営陣を擁する銘柄に焦点を当てて投資します。

（上記見通しは2025年４月23日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。）

## お知らせ

約款変更について

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、運用報告書にかかる記載変更を行いました。

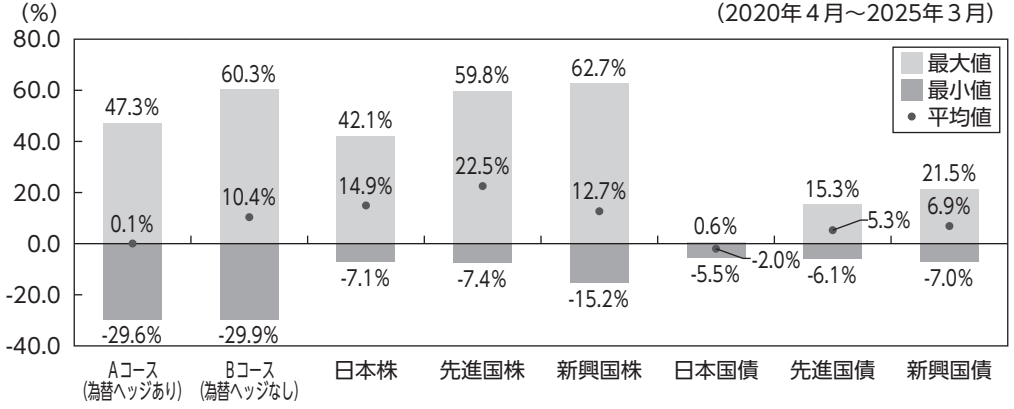
2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

## 本ファンドの概要

| | | |
|---|---|---|
| 商品分類 | | 追加型投信／海外／不動産投信 |
| 信託期間 | | 原則として無期限 |
| 運用方針 | | 米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場（ＮＡＳＤＡＱ）において取引されているＲＥＩＴ（不動産投資信託）への分散投資を通じた、高水準のインカム・ゲインの獲得と長期的な元本の成長によって、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。 |
| 主要投資対象 | | |
| | 本ファンド | 米国ＲＥＩＴマザーファンドの受益証券 |
| | 米国ＲＥＩＴマザーファンド | 米国のニューヨーク証券取引所、アメリカン証券取引所または米国店頭市場（ＮＡＳＤＡＱ）において取引されているＲＥＩＴ（不動産投資信託） |
| 運用方法・組入制限 | | ①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。<br>②実質外貨建資産については、Ａコースでは、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とし、Ｂコースでは、原則として為替ヘッジを行いません。<br>③本ファンドおよびマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。<br>・投資信託証券および短期金融商品以外の有価証券への直接投資は行いません。<br>・外貨建資産への投資については、特に制限を設けません。 |
| 分配方針 | | 原則として毎計算期末（毎月23日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。 |

## （参考情報）

### ■本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較




○上記は、2020年４月から2025年３月の５年間における１年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。
○各資産クラスの指数
日本株：東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）
先進国株：ＭＳＣＩ　コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：ＭＳＣＩ　エマージング・マーケッツ・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ　国債
先進国債：ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：ＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

□東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）の指数値および東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）に係る標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社の知的財産です。□ＭＳＣＩコクサイ・インデックスおよびＭＳＣＩエマージング・マーケッツ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩインクに帰属します。ＭＳＣＩおよびＭＳＣＩの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者（以下総称して「ＭＳＣＩ当事者」といいます）は、ＭＳＣＩの情報について一切の保証（独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません）を明示的に排除します。ＭＳＣＩ、その関連会社およびＭＳＣＩ当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害（逸失利益を含みます）およびその他一切の損害についても責任を負いません。ＭＳＣＩの書面による明示的な同意がない限り、ＭＳＣＩの情報を配布または流布してはならないものとします。□ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。□ＦＴＳＥ世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□ＪＰモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ・グローバルに関する著作権は、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 本ファンドのデータ

## ■本ファンドの組入資産の内容（2025年４月23日現在）

＜Ａコース（為替ヘッジあり）＞

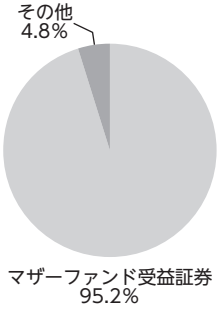
○組入上位ファンド

（組入銘柄数：１銘柄）

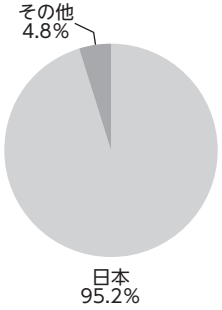
| ファンド名 | 比率 |
|---|---|
| 米国ＲＥＩＴマザーファンド | 95.2% |

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

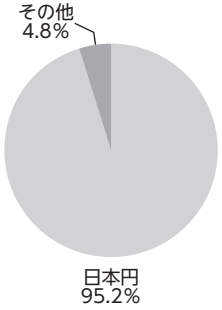
○資産別配分




○国別配分




○通貨別配分




（注１）上記の比率は全てＡコース（為替ヘッジあり）の純資産総額に対する割合です。
（注２）国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

＜Ｂコース（為替ヘッジなし）＞

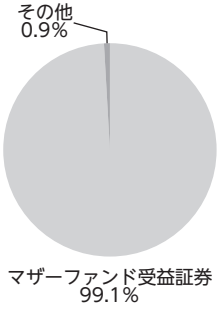
○組入上位ファンド

（組入銘柄数：１銘柄）

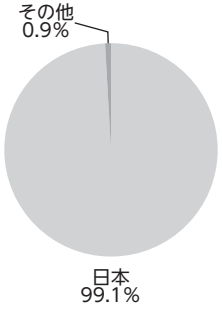
| ファンド名 | 比率 |
|---|---|
| 米国ＲＥＩＴマザーファンド | 99.1% |

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

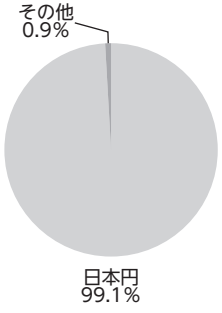
○資産別配分




○国別配分




○通貨別配分




（注１）上記の比率は全てＢコース（為替ヘッジなし）の純資産総額に対する割合です。
（注２）国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

## ■純資産等

### ○Ａコース（為替ヘッジあり）

| 項目 | 第250期末 | 第251期末 | 第252期末 | 第253期末 | 第254期末 | 第255期末 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2024年11月25日 | 2024年12月23日 | 2025年１月23日 | 2025年２月25日 | 2025年３月24日 | 2025年４月23日 |
| 純資産総額 | 6,091,479,858円 | 5,575,195,723円 | 5,540,009,149円 | 5,584,503,712円 | 5,333,079,396円 | 5,083,636,745円 |
| 受益権総口数 | 23,346,480,286口 | 23,027,945,498口 | 22,878,895,935口 | 22,598,881,564口 | 22,520,969,003口 | 22,373,902,327口 |
| １万口当たり基準価額 | 2,609円 | 2,421円 | 2,421円 | 2,471円 | 2,368円 | 2,272円 |

（注）当作成期首元本額は24,717,145,462円、当作成期間（第250期～第255期）中において、追加設定元本額は171,479,748円、同解約元本額は2,514,722,883円です。

### ○Ｂコース（為替ヘッジなし）

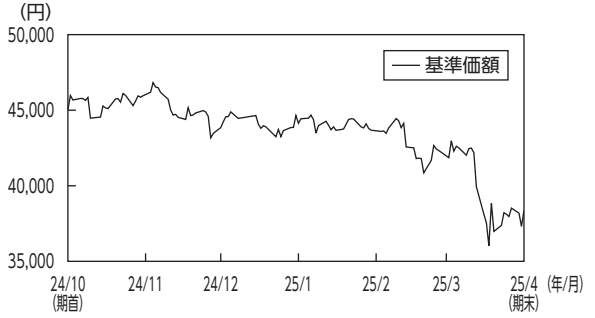
| 項目 | 第250期末 | 第251期末 | 第252期末 | 第253期末 | 第254期末 | 第255期末 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2024年11月25日 | 2024年12月23日 | 2025年１月23日 | 2025年２月25日 | 2025年３月24日 | 2025年４月23日 |
| 純資産総額 | 65,252,929,210円 | 60,974,701,077円 | 60,494,471,188円 | 59,000,135,363円 | 56,029,285,212円 | 50,828,004,910円 |
| 受益権総口数 | 247,399,434,166口 | 244,661,816,983口 | 242,501,178,859口 | 240,741,746,954口 | 239,308,029,798口 | 238,159,535,871口 |
| １万口当たり基準価額 | 2,638円 | 2,492円 | 2,495円 | 2,451円 | 2,341円 | 2,134円 |

（注）当作成期首元本額は250,702,901,870円、当作成期間（第250期～第255期）中において、追加設定元本額は1,890,126,434円、同解約元本額は14,433,492,433円です。

## ■組入上位ファンドの概要

### 米国ＲＥＩＴマザーファンド（2025年４月23日現在）

○基準価額の推移について（2024年10月24日～2025年４月23日）




（注）基準価額の推移については組入れファンドの直近の計算期間のものです。

○１万口当たりの費用明細

| 項目 | |
|---|---|
| 売買委託手数料<br>（投資信託証券） | 8円<br>(8) |
| 有価証券取引税<br>（投資信託証券） | 0<br>(0) |
| その他費用<br>（保管費用）<br>（その他） | 0<br>(0)<br>(0) |
| 合計 | 8 |

（注１）１万口当たりの費用明細は組入れファンドの直近の計算期間のものです。
（注２）１万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

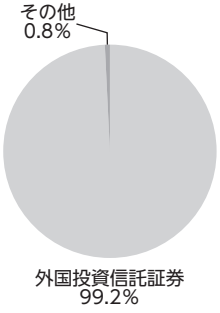
○組入上位10銘柄

（組入銘柄数：31銘柄）

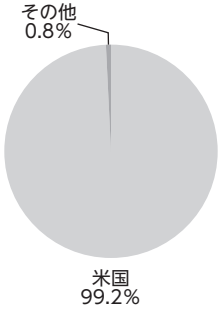
| | 銘柄 | 比率 |
|---|---|---|
| 1 | WELLTOWER INC | 9.3% |
| 2 | PROLOGIS INC | 8.7% |
| 3 | EQUINIX INC | 8.0% |
| 4 | DIGITAL REALTY TRUST INC | 6.3% |
| 5 | SIMON PROPERTY GROUP INC | 5.5% |
| 6 | EXTRA SPACE STORAGE INC | 5.2% |
| 7 | VICI PROPERTIES INC | 4.8% |
| 8 | AVALONBAY COMMUNITIES INC | 4.2% |
| 9 | VENTAS INC | 3.8% |
| 10 | PUBLIC STORAGE | 3.8% |

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

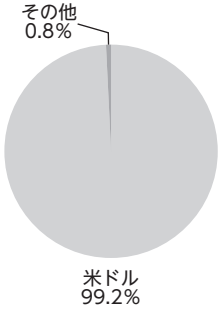
○資産別配分




○国別配分




○通貨別配分




（注１）データは組入れファンドの直近の決算日時点のものです。
（注２）国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。
（注３）上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況によっては合計が100％とならない場合があります。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。